



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月26日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-6438-6860  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 2019年8月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	12,313	27.9	2,372	39.7	2,382	41.7	1,589	41.6
2018年12月期第2四半期	9,626	20.6	1,698	88.8	1,681	85.0	1,122	148.3

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 1,599百万円 (35.0%) 2018年12月期第2四半期 1,184百万円 (101.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	49.22	49.16
2018年12月期第2四半期	34.85	34.76

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	15,785	10,171	64.4	314.71
2018年12月期	14,706	9,145	62.1	283.02

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 10,165百万円 2018年12月期 9,137百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期については、遡及適用後の数値を記載しています。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	7.00	—	18.00	25.00
2019年12月期	—	14.00	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	18.0	4,350	15.8	4,330	14.1	2,920	12.1	90.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	34,471,000株	2018年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	2,171,141株	2018年12月期	2,185,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	32,292,143株	2018年12月期 2 Q	32,218,502株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2019年7月29日（月）にアナリスト及び機関投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益が底堅く推移するなか、内需景気の緩やかな回復基調が続き、雇用・所得環境は改善し、個人消費は持ち直しを見せました。一方、消費者マインドは低水準で推移し、世界経済の先行き不透明感や、今秋に予定されている消費税増税による今後への影響が懸念されています。

当社グループが軸足を置くマーケティング領域においては、eコマース市場が堅調に拡大していきにしたがい、参加者が増えコマース事業者間の競争が激しさを増しております。そのため、効果的なマーケティングソリューションの需要が一層高まっております。

こうした環境の下、当社グループは、顧客であるコマース事業者のパフォーマンス（コンバージョン＝購入・申込）を最大化するため、集客から顧客維持までのマーケティングソリューションを提供することに注力しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、「Yahoo!ショッピング」のストア向けCRMツール「STORE's R<sup>∞</sup>（ストアーズ・アールエイト）」、クリック課金型広告「ストアマッチ」及び成果報酬型広告「アフィリエイト」が伸長したことにより、12,313,559千円（前年同四半期比27.9%増）となりました。

販売費及び一般管理費は、従業員の意欲向上のため給与・賞与の増額、人員の増加、社内業務の最適化に向けたシステム導入等ともなう費用増により、1,641,373千円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

営業利益は、既存サービスがいずれも伸長したことにより、2,372,400千円（前年同四半期比39.7%増）となりました。

経常利益は、営業外収益に投資事業組合運用益8,252千円を計上したこと等により、2,382,708千円（前年同四半期比41.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等744,631千円を計上したこと等により、1,589,306千円（前年同四半期比41.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

## ① マーケティングソリューション事業

マーケティングソリューション事業は、ウェブサイト上で商品やサービスを販売している一般コマース事業者向けに、集客から顧客維持までのソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」です。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」において、広告技術とビッグデータに基づく提案を実施したことで、コンバージョン（購入・申込）が増加しました。

この結果、セグメント売上高は8,750,612千円（前年同四半期比19.5%増）、セグメント利益は1,544,220千円（前年同四半期比17.3%増）となりました。

## ② ECソリューション事業

ECソリューション事業は、「Yahoo!ショッピング」をはじめとするオンラインモールのストア向けに、集客から顧客維持までのソリューションを提供する事業です。主要なサービスは、CRMツール「STORE's R<sup>∞</sup>（ストアーズ・アールエイト）」及びクリック課金型広告「ストアマッチ」です。

当第2四半期連結累計期間におきましては、「STORE's R<sup>∞</sup>（ストアーズ・アールエイト）」及び「ストアマッチ」ともに前連結会計年度に開発したストアの運用を一部自動化する機能が奏功しました。また、「ストアマッチ」については広告掲載面の拡大及びヤフー株式会社との協業による各種営業施策が奏功し、業績に寄与しました。

この結果、セグメント売上高は3,562,947千円（前年同四半期比54.6%増）、セグメント利益は1,442,599千円（前年同四半期比38.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 1. 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は15,785,374千円となり、前連結会計年度末と比べて1,078,871千円増加いたしました。

流動資産は13,766,148千円となり、前連結会計年度末と比べて1,102,699千円増加いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金が232,313千円減少したものの、現金及び預金が1,137,265千円、未収入金が157,699千円増加したことによるものです。

固定資産は2,019,225千円となり、前連結会計年度末と比べて23,828千円減少いたしました。これは、主に工具、器具及び備品が36,407千円、投資有価証券が30,539千円増加したものの、のれんが56,173千円、繰延税金資産が33,940千円減少したことによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は5,614,176千円となり、前連結会計年度末と比べて53,568千円増加いたしました。

流動負債は5,538,807千円となり、前連結会計年度末と比べて53,542千円増加いたしました。これは、主に買掛金が140,443千円、未払法人税等が59,192千円減少したものの、未払金が200,007千円、その他流動負債が53,170千円増加したことによるものです。

固定負債は75,369千円となり、前連結会計年度末と比べて25千円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は10,171,197千円となり、前連結会計年度末と比べて1,025,302千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により581,135千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,589,306千円増加したことによるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は9,115,320千円となり、前連結会計年度末と比べて1,137,265千円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,882,064千円（前年同四半期は1,162,607千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が2,333,937千円であり、プラス要因として、減価償却費が127,560千円、のれん償却額が56,173千円、売上債権の減少額が232,313千円、未払金の増加額が92,198千円であったものの、マイナス要因として、仕入債務の減少額が140,443千円、未収入金の増加額が59,355千円、法人税等の支払額が764,105千円であったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は173,939千円（前年同四半期は69,194千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が63,288千円、無形固定資産の取得による支出が103,442千円であったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は570,682千円（前年同四半期は200,423千円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が577,352千円であったことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月24日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2019年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,978,055	9,115,320
受取手形及び売掛金	3,550,095	3,317,782
未収入金	1,059,346	1,217,045
その他	89,300	116,275
貸倒引当金	△13,348	△275
流動資産合計	12,663,448	13,766,148
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	189,933	181,195
工具、器具及び備品（純額）	102,150	138,557
有形固定資産合計	292,083	319,753
無形固定資産		
ソフトウェア	553,722	546,085
ソフトウェア仮勘定	68,813	78,987
のれん	224,695	168,521
その他	11,169	10,687
無形固定資産合計	858,401	804,282
投資その他の資産		
投資有価証券	490,638	521,177
差入保証金	243,455	243,455
繰延税金資産	136,691	102,751
その他	21,785	27,805
投資その他の資産合計	892,569	895,189
固定資産合計	2,043,054	2,019,225
資産合計	14,706,503	15,785,374

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,566,017	2,425,573
未払金	1,803,002	2,003,009
未払法人税等	820,947	761,754
その他	295,298	348,468
流動負債合計	5,485,264	5,538,807
固定負債		
その他	75,343	75,369
固定負債合計	75,343	75,369
負債合計	5,560,607	5,614,176
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,157,284	1,162,772
利益剰余金	6,664,609	7,672,779
自己株式	△533,656	△530,180
株主資本合計	9,016,504	10,033,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120,941	131,403
その他の包括利益累計額合計	120,941	131,403
新株予約権	8,448	6,155
純資産合計	9,145,895	10,171,197
負債純資産合計	14,706,503	15,785,374

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,626,456	12,313,559
売上原価	6,439,810	8,299,784
売上総利益	3,186,645	4,013,774
販売費及び一般管理費	1,487,909	1,641,373
営業利益	1,698,735	2,372,400
営業外収益		
投資事業組合運用益	—	8,252
その他	11,477	3,279
営業外収益合計	11,477	11,532
営業外費用		
持分法による投資損失	18,956	—
投資事業組合運用損	9,194	—
為替差損	420	669
その他	66	555
営業外費用合計	28,637	1,224
経常利益	1,681,575	2,382,708
特別損失		
減損損失	16,166	7,890
システム障害対応費用	—	40,880
特別損失合計	16,166	48,770
税金等調整前四半期純利益	1,665,409	2,333,937
法人税、住民税及び事業税	538,364	715,308
法人税等調整額	4,320	29,322
法人税等合計	542,685	744,631
四半期純利益	1,122,724	1,589,306
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122,724	1,589,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,192	10,461
為替換算調整勘定	△313	—
その他の包括利益合計	61,878	10,461
四半期包括利益	1,184,603	1,599,768
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,184,603	1,599,768
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,665,409	2,333,937
減価償却費	115,587	127,560
のれん償却額	56,173	56,173
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	257	△13,072
受取利息	△43	△55
為替差損益 (△は益)	134	177
持分法による投資損益 (△は益)	18,956	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	9,194	△8,252
減損損失	16,166	7,890
システム障害対応費用	—	40,880
売上債権の増減額 (△は増加)	△195,591	232,313
仕入債務の増減額 (△は減少)	148,911	△140,443
未収入金の増減額 (△は増加)	74,952	△59,355
未払金の増減額 (△は減少)	△107,878	92,198
預り保証金の増減額 (△は減少)	△68,177	—
その他	△72,010	△23,837
小計	1,662,043	2,646,114
利息及び配当金の受取額	2,134	55
法人税等の支払額	△501,570	△764,105
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,162,607</b>	<b>1,882,064</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,780	△63,288
無形固定資産の取得による支出	△138,952	△103,442
投資有価証券の取得による支出	△32,901	△33,090
投資事業組合からの分配による収入	104,139	25,881
差入保証金の回収による収入	300	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△69,194</b>	<b>△173,939</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	22,964	6,759
自己株式の取得による支出	—	△89
配当金の支払額	△223,388	△577,352
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△200,423</b>	<b>△570,682</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△447	△177
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	892,541	1,137,265
現金及び現金同等物の期首残高	5,002,511	7,978,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,895,052	9,115,320

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I. 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	マーケティング ソリューション事業	ECソリュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,321,137	2,305,318	9,626,456	—	9,626,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,321,137	2,305,318	9,626,456	—	9,626,456
セグメント利益	1,316,331	1,040,294	2,356,625	△657,889	1,698,735

(注) 1. セグメント利益の調整額△657,889千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II. 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	マーケティング ソリューション事業	ECソリュー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,750,612	3,562,947	12,313,559	—	12,313,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,750,612	3,562,947	12,313,559	—	12,313,559
セグメント利益	1,544,220	1,442,599	2,986,820	△614,419	2,372,400

(注) 1. セグメント利益の調整額△614,419千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。